

行政調査報告書「未来型施設整備研究特別委員会」

令和元年10月9日～11日

■東京農村（東京都港区）『東京農村について』

東京農村は、東京の農業を味わい、知って、繋がれる拠点として設立した。

東京の農・食に関する幅広い情報に触れることや、繋がりを創ることができる。

地産地消を目指し、農業を一つの手段として地域の人々を繋げていく行動が素晴らしいと感じた。



■群馬県沼田市『テラス沼田について』



老朽化庁舎等の問題解決のため、既存の商業施設を庁舎・市民活動・商業施設の3つの機能を有するテラス沼田として再整備した。

分散していた庁舎を集約して市民サービスの向上、業務効率化を図りつつコスト削減に寄与できた。だれでも使える休憩スペースが多く設置され、市役所を身近に感じるのではないかと考える。

複合施設として、役所らしくないデザインなどの工夫もされ、このような市民目線を大切にする姿勢は参考にすべきと思った。

■茨城県鹿嶋市『いきいきゆめプールについて』

いきいきゆめプールは、学校用と市民用の両方の役割を持つ屋内温水プールである。

授業が天候に左右されず予定通りにできるメリットは大きいと感じた。

通年での利用が可能になり、市民の健康増進と医療費削減につながっている。

鹿嶋市は未実施の残り5校も温水プール化を検討しており、本事業の有効性を感じた。

